



学校だより

つちのこ

令和 7 年 5 月 2 0 日
長崎市立土井首小学校
校 長 小柳 暁

○ はじめに

令和 7 年度。4 月から土井首小学校の校長を務めます、小柳です。名前は「暁」と書いて、「さとる」と読みます。「暁」という字には「夜明け」という意味があります。父からは「『明るい未来を切り開く人に』という思いでつけた。」と言われました。……完全に名前負け……。でも、「スラムダンク」の安西先生は「あきらめたら、そこで試合終了ですよ。」とおっしゃっています。だから、最後まであきらめずに明るい未来を切り開こうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 4 月を振り返って

4 月は子どもも大人も体調を崩している方が多かったようで、私もようやく慣れたかな、と思っていたGW前に風邪をひいてしまいました。私は 3 月に対馬から異動してきましたが、引越しの疲れは、アラ環（57 歳）の老体に大きなダメージを与えているんだなと思いました。今年の土井首小学校の職員室づくりにおいて、「健康第一！」と大きく掲げています。土の子たちの元気な笑顔のために、元気な職員室、元気な大人が必要です。みんなで「健康第一！」に過ごしていきましょう。

○ 子どもたちの様子

始業式から、私なりに子どもの様子、各学年・学級の様子を見てまいりました。そこで思ったことは、「素直で、素朴。子どもらしいなあ。」ということです。

先日全校集会で、あいさつを用いて話をしました。私が伝えたかったことは、「あいさつをしなさい」ということよりも「見ている人の気持ちになりましょう」ということです。私は毎朝、通学路を 30 分ほど歩きながら、安全指導をしながら挨拶をしています。その際に立ち止まってお辞儀をする「ワンストップ挨拶」を心掛けていますが、日に日に「ワンストップ挨拶」を返してくれる土の子が増えてきました。

朝の通勤時間ですから、その横をたくさんの人や車が通ります。さて、ワンストップ挨拶をしている子を見た通りがかりの人は、その子のことをどう思うのでしょうか？いい子と思うだろうし、多くの子がそうしていたら「土井首小はいい学校だな」となるでしょう。『見ている人の気持ち』『相手の気持ち』『今の自分を見て、今の自分の言葉を聞いて、友達は思うだろう』を考えて行動しよう。」と話したら、もっと増え続けています。土の子たちには、そんな素直さがいっぱいです。

その素直さは「見て、見て、私を見て」という気持ちの表れです。だから、私はこれからも子どもを笑顔で迎え、挨拶を返し、「いいね」「さわやかだね」とほめ続けます。御家庭でもいっぱいほめてあげてください。家族のつながりは何よりも大切です。

学校教育目標 **「なりたい自分になる！やりたいことをやる！」**